

第 8 期琵琶湖に係る湖沼水質保全 計画関連事業の実績状況

令和 5 年 6 月 20 日
滋賀県琵琶湖環境部

②富栄養化項目

	項目	基準値	R4年度測定値	R4年度中最小～最大
北湖	T-N(mg/L)	0.2	0.20	0.14～0.30
	T-P(mg/L)	0.01	0.009	0.005～0.012
南湖	T-N(mg/L)	0.2	0.23	0.17～0.30
	T-P(mg/L)	0.01	0.014	0.009～0.019

・各環境基準点の年間平均値のうち、最も高い地点で判定

③水生生物保全項目

全亜鉛、ノニルフェノール、LAS について、全地点で環境基準を達成。

COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物を酸化剤で化学的に酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもの。

有機汚濁の指標。

有機物を分解する際に溶存酸素が消費されることによって生じる生物生息環境への影響および悪臭、着色などの生活環境への影響が考えられる。

T-N（全窒素）および T-P（全りん）

富栄養化の代表的な原因物質。

湖沼や内湾などの停滞性水域に大量の栄養分（窒素・リン等）が流入すると、富栄養の状態となり、水域内部での一次生産量（植物プランクトン）が増加して二次生産者（動物プランクトンなど）による補食が追いつかないために生態系のバランスが崩れる。富栄養化による障害は植物プランクトンの異常発生による濁り、浄水場のろ過障害、清水性魚介類の生息障害などがあり、富栄養化による極端な例が赤潮やアオコ現象。

1. 湖沼水質保全計画の経過

湖沼水質保全特別措置法（以下、「湖沼法」と言う。）に基づき昭和60年度に琵琶湖が指定湖沼に指定され、昭和61年度に第1期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画（以下、「計画」と言う。）を策定して以来、5年ごとに見直しを行っており、平成28年度に策定した第7期計画は、令和2年度をもって計画期間の満了を迎え、令和3年度に第8期計画を策定した。

また平成18年度には、琵琶湖の汚濁負荷量に占める割合が大きく、汚濁負荷削減対策を実施することが可能である地区として、湖沼法に基づき赤野井湾を流出水対策地区に指定し、同年度に赤野井湾流域流出水対策推進計画を策定し、第5期計画内に定めており、計画の見直しと並行して、流出水対策計画も見直しをおこなっている。

2. 計画の目的

水質の環境基準（COD、全窒素、全りん）の達成を目途としつつ、計画期間内（原則5年）に実施できる対策効果をもとに推計した水質目標の達成を目的とする。

3. 第8期計画期間

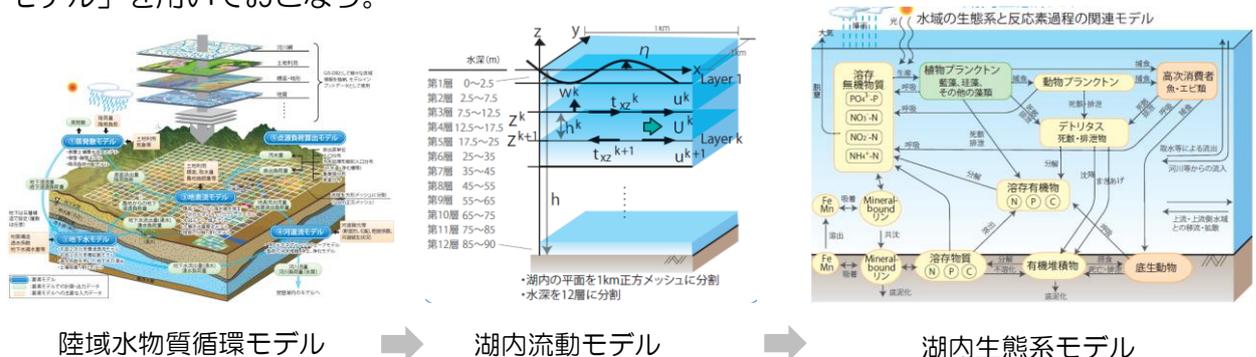
令和3年度から令和7年度（5年間）

4. 計画記載事項

- ① 計画期間
- ② 水質保全方針 重点的または新たな取り組み等
- ③ 水質の保全に資する事業
下水道、し尿処理施設、浄化槽、廃棄物処理施設、浚渫等の湖沼浄化対策等
- ④ 水質の保全のための規制その他の措置
工場・事業場の排水対策、生活排水対策、流出水対策、水草除去、ヨシ群落の保全等
- ⑤ その他水質の保全のために必要な措置
水質監視、調査研究、生態系の保全、環境学習、地域住民との協働等

5. 水質シミュレーション

水質の現況再現および将来予測に係るシミュレーションは、「琵琶湖流域水物質循環モデル」を用いておこなう。



6. 第8期計画における事業の進捗状況

(1) 水質目標値の達成状況 (環境基準点)

(mg/l)

		令和2年度	令和7年度目標		過年度実績				
		実績	対策を講じ ない場合	対策を講じ た場合	第7期			第8期	
					平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
COD 75%値	北湖	2.8	2.8	2.8	2.6	2.9	2.8	2.8	2.8
	南湖	5.3	4.5	4.5	4.2	4.1	5.3	5.2	4.9
全窒素 年平均	北湖	0.20	0.20	0.20	0.21	0.20	0.20	0.21	0.20
	南湖	0.24	0.25	0.24	0.32	0.22	0.24	0.27	0.23
全りん 年平均	南湖	0.015	0.018	0.015	0.017	0.011	0.015	0.016	0.014

(参考値)

		令和2年度	令和7年度目標		過年度実績				
		実績	対策を講じ ない場合	対策を講じ た場合	第7期			第8期	
					平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全りん 年平均	北湖	0.007	0.007	0.007	0.006	0.006	0.007	0.008	0.009
TOC	北湖	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6
	南湖	2.3	2.2	2.2	2.4	2.1	2.3	2.2	2.3

(2) 水質の保全に資する事業

① 下水道整備計画

年度	指定地域内 行政人口	指定地域内 処理人口	指定地域 内普及率
平成29年度	1,417千人	1,271千人	89.7%
平成30年度	1,419千人	1,280千人	90.2%
令和元年度	1,419千人	1,293千人	91.1%
令和2年度	1,416千人	1,297千人	91.6%
令和3年度	1,412千人	1,300千人	92.1%
令和4年度	集計中	集計中	集計中
令和7年度目標	1,394千人	1,320千人	94.7%

② 農業集落排水施設整備

年度	普及率
平成29年度	6.3%
平成30年度	6.0%
令和元年度	5.3%
令和2年度	5.3%
令和3年度	4.5%
令和4年度	集計中
令和7年度目標	3.4%

③ 合併処理浄化槽整備

年度	普及率
平成29年度	2.6%
平成30年度	2.5%
令和元年度	2.4%
令和2年度	2.4%
令和3年度	2.4%
令和4年度	集計中
令和7年度目標	1.8%

④ 汚水処理施設の普及率

年度	普及率
平成29年度	98.7%
平成30年度	99.3%
令和元年度	98.9%
令和2年度	98.9%
令和3年度	99.1%
令和4年度	集計中
令和7年度目標	99.8%

※()内は第7期計画期間

第8期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画における事業一覧

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
1	水質目標値 (mg/L)	(北湖) COD75%値：2.8 COD平均値：2.5 全窒素：0.20 (南湖) COD75%値：4.5 COD平均値：3.2 全窒素：0.24 全りん：0.015	琵琶湖保全再生課	(北湖) COD75%値：2.8 COD平均値：2.4 全窒素：0.20 (南湖) COD75%値：5.2 COD平均値：3.0 全窒素：0.27 全りん：0.020	(北湖) COD75%値：2.8 COD平均値：2.4 全窒素：0.19 (南湖) COD75%値：4.9 COD平均値：3.1 全窒素：0.26 全りん：0.018
2	第2章 5 (1) 持続的な汚水処理システムの構築		循環社会推進課 下水道課 農村振興課		
3		(滋賀県内汚水処理施設の普及率) 下水道 94.7% 農業集落排水施設 3.4% 浄化槽 1.8% (合計) 99.8%	循環社会推進課 下水道課 農村振興課	(滋賀県内汚水処理施設の普及率) 下水道 92.1% 農業集落排水施設 4.5% 浄化槽 2.4% (合計) 99.1%	(滋賀県内汚水処理施設の普及率) 下水道 集計中 農業集落排水施設 集計中 浄化槽 集計中 (合計) 集計中
4	① 下水道の整備	面的整備の推進等	下水道課	流域幹線：2処理区 浄化センター：4箇所	流域幹線：2処理区 浄化センター：4箇所
5	② 農業集落排水施設の整備	適正な維持管理	農村振興課	農業集落排水事業 機能強化工事 4地区 計画策定業務 1地区	農業集落排水事業 機能強化工事 5地区 計画策定業務 1地区
6	③ 浄化槽等の整備	生活排水対策の推進等	循環社会推進課	95基の浄化槽を新規整備	78基の浄化槽を新規整備
7	(2) 廃棄物処理施設の整備	不法投棄等の不適正処理に起因する水質汚濁の防止を推進	循環社会推進課	ごみ処理施設：14施設 1,526 t/日 粗大ごみ処理施設：13施設 295.31t/日 資源化施設：14施設 154.834 t/日 最終処分場：15施設 142万8千㎡	要綱に基づく廃棄物処理施設等への立入検査の実施により、処理業者等の不適正処理に起因した水質汚濁の発生がないことを確認した。
8	(3) 湖沼の浄化対策		市町振興課 琵琶湖保全再生課 下水道課 水産課 流域政策局 琵琶湖環境科学研究センター		
9	① 水草等の除去	水草等の刈り取りを実施	琵琶湖保全再生課	水草刈取り・除去量 4,054t	水草刈取り・除去量 3,257t
10			下水道課	水草刈り取り量618.3t (揚陸量)	水草刈り取り量374.1t (揚陸量)
11			流域政策局	水草刈り取り量 108t	水草刈り取り量 372t
12		除去実施市町への支援	市町振興課	自治振興交付金を交付(4,479千円)	集計中
13		水草等たい肥を配布するなど水草の有効利用の推進	琵琶湖保全再生課	資源循環推進のための普及啓発	延べ912人、296m3配布
14		水草対策技術開発支援	琵琶湖保全再生課	支援団体 5団体	支援団体 4団体
15		水草対策調査・研究	琵琶湖保全再生課 琵琶湖環境科学研究センター 琵琶湖博物館 他	関係機関から構成する水草対策チームを設置し、効果的・効果的な水草対策をおこなうため、水草繁茂状況や水草関連試験研究等に関して情報交換をおこなった(2回/年)。	関係機関から構成する水草対策チームを設置し、効果的・効果的な水草対策をおこなうため、水草繁茂状況や水草関連試験研究等に関して情報交換をおこなった(2回/年)。
16		水草を摂食するワタカワの放流	水産課	10千尾を放流。	100千尾を放流
17	② 湖底の環境改善	南湖の湖底の耕うんや平坦化、砂地の造成	水産課	耕うん(志那沖188ha)	耕うん(志那沖188ha)

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
18	(4) 流入河川等の浄化対策		流域政策局		
19	①内湖の浄化対策	木浜内湖等において覆土等（植生護岸を含む）を実施	流域政策局	木浜内湖 覆砂・植生工25.9m	木浜内湖 覆砂・植生工44.4m
20	②河川の浄化対策	赤野井湾等において浄化施設を整備	流域政策局	水質浄化施設として小津袋内湖の浚渫を実施した。	水質浄化施設として小津袋内湖の浚渫を実施した。
21		生態系に配慮した多自然川づくりによる河川改修やダム湖の水質保全および水質の把握	流域政策局	曝気設備の運用管理 水質検査	曝気設備の運用管理 水質検査
22		生態系に配慮した多自然川づくりによる河川改修やダム湖の水質保全および水質の把握	流域政策局	連節ブロック 0.71km	連節ブロック 1.94km
23	(1) 工場・事業場排水対策		京都府・京都市 環境政策課 循環社会推進課 下水道課 建築課		
24	①排水規制等	立入検査等による排水基準等遵守の徹底、排水量10㎡以上の特定事業場に対する上乗せ排水基準による規制	環境政策課	規制対象に対する187事業場の立入検査、225検体の排水検査を実施。	規制対象に対する238事業場の立入検査、281検体の排水検査を実施。
25	②汚濁負荷量の規制	湖沼特定事業場に対する汚濁負荷量規制	環境政策課	汚濁負荷量規制対象について基準違反は認められない	汚濁負荷量規制対象について基準違反は認められない
26	③指導等	規制対象外事業場に対する指導	環境政策課	苦情処理時等において指導を実施	苦情処理時等において指導を実施
27		市町がおこなう下水道への接続促進に関する取組への支援	下水道課	業務委託により接続率向上に寄与するための方策を検討・整理し、その内容を市町へ共有した。	業務委託により、各市町が接続率向上に寄与するための方策を実施する際に参考となる資料の作成を進めた。
28	(2) 生活排水対策		京都府・京都市 環境政策課 循環社会推進課 下水道課 建築課		
29	水濁法に基づく生活排水対策の促進	「生活排水対策推進計画」に基づく対策の推進、「県生活排水対策推進条例」に基づく浄化槽の設置の徹底	循環社会推進課	浄化槽の設置義務に関する区域について条例に基づき告示を行った。また担当課HPにて条例の周知を行った。	浄化槽の設置義務に関する区域について条例に基づき告示を行った。また担当課HPにて条例の周知を行った。
30	①下水道への接続の促進	下水道への接続の促進	下水道課	業務委託により接続率向上に寄与するための方策を検討・整理し、その内容を市町へ共有した。	業務委託により、各市町が接続率向上に寄与するための方策を実施する際に参考となる資料の作成を進めた。
31	②浄化槽の適正な設置、管理の確保	浄化槽の適正な設置、管理の確保等	循環社会推進課	(公社)生活環境事業協会への事業委託により浄化槽管理者（所有者）への啓発等を実施した。また担当課HPで啓発を行った。	(公社)生活環境事業協会への事業委託により浄化槽管理者（所有者）への啓発等を実施した。また担当課HPで啓発を行った。
32			建築課	建築基準法に基づく浄化槽設置届の受理	建築基準法に基づく浄化槽設置届の受理
33		京都市が浄化槽の適正な管理の確保のための指導等を図る	京都府・京都市	個別訪問による啓発用リーフレットの配布及び浄化槽放流水の採水調査を実施した。	個別訪問による啓発用リーフレットの配布を実施した。
34	③水環境への負荷の少ないライフスタイルの確立	暮らしと水環境とのつながりや影響を学ぶ環境学習の推進、環境に配慮した生活（エコライフ）に関する情報提供、啓発	環境政策課	琵琶湖学習入門編である「びわ湖を学ぼう」等の配布や、暮らしと琵琶湖のつながりについて、各方面への出前講座を継続的に実施した。出前講座は、東山中学校において、暮らしと琵琶湖のつながりについて講義（約190名）するなど計5回実施した。	琵琶湖学習入門編である「びわ湖を学ぼう」等の配布や、暮らしと琵琶湖のつながりについて、各方面への出前講座を継続的に実施した。出前講座は、東山中学校において、暮らしと琵琶湖のつながりについて講義（約174名）するなど計7回実施した。

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
35	(3) 畜産業に係る汚濁負荷対策		環境政策課 畜産課		
36	①家畜排せつ物の適正な管理	畜産農家へ家畜排せつ物の適正管理の指導	畜産課	畜産経営環境保全実態調査を実施し、畜産農家の家畜排せつ物に関する管理状況を把握するとともに必要に応じて指導を行った。	畜産経営環境保全実態調査を実施し、畜産農家の家畜排せつ物に関する管理状況を把握するとともに必要に応じて指導を行った。
37	②畜舎の管理の適正化	構造および使用方法の規制の遵守徹底等	環境政策課	立入検査や届出の審査の中で指導を実施	立入検査や届出の審査の中で指導を実施
38	(4) 魚類養殖に係る汚濁負荷対策	飼料の投与、へい死魚の適正処理等の指導	水産課	飼料の投与、斃死魚の取扱い、医薬品使用についての指導を実施	飼料の投与、斃死魚の取扱い、医薬品使用についての指導を実施
39	(5) 流出水対策		京都府 下水道課 森林保全課 みらいの農業振興課 農村振興課 道路整備課・道路保全課		
40	①農業地域対策	「県環境こだわり農業推進条例」等に基づき、化学合成農薬等使用量減、農業排水の適正管理等の実施	みらいの農業振興課	環境こだわり農産物栽培面積 14,206ha	環境こだわり農産物栽培面積 13,376ha
41		「世代をつなぐ農村まるごと保全国上対策」として農地や農業用施設等の適正管理、農業排水対策の実施	農村振興課	取組面積 35,993ha	取組面積 35,704ha
42		「みずすまし構想」に基づく、農業用排水施設の計画的な整備、農業排水の循環利用などの施策の推進等	農村振興課	水質浄化施設整備 2地区	水質浄化施設整備 2地区
43		京都府においては、化学農薬及び化学肥料の施用量の低減の実施	京都府	・有機農業を含む環境にやさしい農業の普及啓発 ・同農業に取り組む農業者をHP等で広く紹介	営農の実情に即した化学農薬および化学肥料の施用量の低減等を推進
44	②市街地対策	小水路の清掃、市街地排水浄化施設の整備、透水性舗装の整備、雨水貯留浸透施設の整備、雨水排水の地下浸透工法の活用	下水道課	なし	なし
45			道路整備課・道路保全課	透水性舗装：15,000㎡	透水性舗装：6,250㎡
46	③自然地域対策	森林等自然地域の適正管理、負荷の実態把握	森林保全課	・山地治山総合対策 51箇所 45,32ha ・水源地域等総合対策 14箇所 90,87ha ・森林基盤整備（交付金） 18箇所 20,79ha ・造林事業：1102ha	・山地治山総合対策 30箇所 30,82ha ・水源地域等総合対策 4箇所 27,86ha ・流域保全総合治山 4箇所 39,19ha ・森林基盤整備（交付金） 18箇所 4,65ha ・造林事業：1,180ha
47	④流出水対策地区における重点的な対策の実施	赤野井湾流出水対策推進計画に基づく負荷低減対策の推進		別掲	別掲
48	(6) その他の負荷低減対策		琵琶湖保全再生課 循環社会推進課		
49	①琵琶湖におけるレジャー利用の適性化	プレジャーボートの従来型2サイクルエンジンの使用禁止対策	琵琶湖保全再生課	環境対策型エンジンであることを示す適合証の発行 1,492件 適合証の表示状況の監視、指導	環境対策型エンジンであることを示す適合証の発行 1,377件 適合証の表示状況の監視、指導
50	②散在性ごみ防止に係る啓発	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発の実施	循環社会推進課	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発パトロール等を実施した。	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発パトロール等を実施した。
51	③プラスチックごみ等の増加の防止	3Rの一層の推進、適正処理の実践を推進	循環社会推進課	プラスチックごみにかかる3Rの推進啓発の実施やマイボトル利用可能スポットの増加促進等を行った。	プラスチックごみにかかる3Rの推進啓発の実施やマイボトル利用可能スポットの増加促進等を行った。
52		マイクロプラスチックに関する科学的な知見の収集、情報発信	琵琶湖保全再生課	なし	なし

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
53	(7) 緑地の保全その他湖辺の自然環境の保護		琵琶湖保全再生課 自然環境保全課 都市計画課		
54	① 緑地の保全	関係諸制度の適確な運用による緑地の保全	自然環境保全課他	自然公園区域、保安林区域内での開発規制	自然公園区域、保安林区域内での開発規制
55		都市公園の整備	都市計画課	※事業の実施なし	※事業の実施なし
56	② 湖辺の自然環境の保護	「琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例」に基づき、ヨシ群落保全事業の実施	琵琶湖保全再生課	長浜市長浜地区でヨシ帯再生のための消波工等を設置した(繰越)。また、ヨシ刈り等ヨシ群落保全活動を実施した。	長浜市長浜地区でヨシ帯再生のための消波工等を設置 0.01ha ヨシ刈り等ヨシ群落保全活動を実施
57	(8) 公共用水域の水質監視		国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課		
58		琵琶湖51地点、流入河川31地点における、水質監視	国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課	琵琶湖51地点、流入河川27地点において水質監視をおこなった。	琵琶湖51地点、流入河川27地点において水質監視をおこなった。
59		底層DOの監視	国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課	琵琶湖5地点において底層DOの監視をおこなった。また、琵琶湖6地点においては補足調査をおこなった。	琵琶湖5地点において底層DOの監視をおこなった。
60		プランクトン調査の実施等	琵琶湖保全再生課	北湖3地点、南湖1地点においてプランクトン調査をおこなった。	北湖3地点、南湖1地点においてプランクトン調査をおこなった。
61		モニタリングの改善	琵琶湖保全再生課	モニタリングの見直しに関して、関係機関と調整を行い、環境審議会で報告した。	モニタリングの見直しに関して、関係機関と調整を行い、環境審議会で報告した。
62	(9) 調査研究の推進	各種調査研究の推進	環境政策課 琵琶湖保全再生課 水産課 流域政策局 琵琶湖環境科学研究センター		
63		植物プランクトンが生みだした有機物が、動物プランクトン、さらには魚類へと滞りなく受け渡される要件と指標に関する調査研究及び良好な水質と豊かな生態系を両立する新たな水質管理手法の検討	琵琶湖環境科学研究センター	物質循環の円滑さの評価に向けて、モデルの全層循環の再現性を向上させるとともに、大型植物プランクトンを考慮できるようにモデルを改良した。動物プランクトンの餌量・質の変化に関する調査からは、可食サイズの植物プランクトン量が1990年代に比べて減少している可能性が示唆され、また大型植物プランクトンのC:N、C:Pは中小型に比べて顕著に高いことが明らかになった。DOM分子サイズ別分解速度定数を、その濃度や蛍光強度、水温から推定する換算式を作成し、湖内物質循環への寄与を推定した。	<ul style="list-style-type: none"> 物質循環の円滑さ指標の検討とモデル解析 動プラと餌生物の現存量等の継続調査と、動プラの量が増えやすい要件の検討 動プラと餌生物のCNPの継続分析と、動プラの質(C:N、C:P)に影響する要因の検討 湖水溶解有機物の分子量別に分離・濃縮して測定、生分解性の検討 化学分析法の改良、湖水試料への適用、湖水細菌の培養実験 湖内の炭素や栄養塩等の物質循環の状況を把握するためのモニタリングデータの解析 有機物分解実験試料の指標候補の分析・解析、粒径別調査
64		気候変動の影響を見据えた水質改善対策(植物プランクトンの大繁殖や底層の貧酸素化の抑制)に係る検討	琵琶湖保全再生課	西の湖の課題や現状を整理し、水質改善(アオコの発生抑制)に向けて、検討会を3回開催し、対策の検討を行った。	西の湖をモデルにアオコの発生抑制を目的とした、底層への酸素供給などの実証試験を実施した。
65		在来魚介類のにぎわい復活に向けた琵琶湖およびその集水域での生態系の保全、修復方法の調査研究	環境政策課	湖辺や河川において、地域住民等とも協働した在来魚介類のにぎわい復活に向けた実証的な研究を進め、成果については湖沼環境改善に向けた考え方や実践～琵琶湖における二枚貝を指標とした事例集～において取りまとめた。	湖辺や河川において、地域住民等とも協働した在来魚介類のにぎわい復活に向けた実証的な研究を進め、水温上昇がシジミの生育に与える影響などが明らかとなった。
66		底層DOモニタリング方法の構築	琵琶湖環境科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> 水深別調査の実施 底層DOモニタリングの実施 底層DOの環境基準点設定の検討等 底層水質調査手法の検討 底層DOのモニタリング・評価手法の提示に向け、底泥の酸素消費量(SOD)調査や簡易手法の試行。SODの面的分布把握調査の試行。 	<ul style="list-style-type: none"> 水深別調査の実施 底層DOおよび底層水質を調査、底層DO低下状況を把握。DOと水質の関係を解析 底層DOの環境基準点設定等にあたり調査結果を提供 底泥の酸素消費量(SOD)の詳細把握調査を実施、SODと底泥成分の関係を解析 SOD簡易測定法による面的分布把握調査の実施

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
67		南湖生態系に影響を及ぼす湖底環境等に関する研究	琵琶湖環境科学研究センター	・これまでの南湖湖底直上における貧酸素水塊の特徴の解析 ・環境DNAを活用した南湖水草周辺生物把握のための補足調査 ・南湖の底泥に含まれる炭素量などを測定し、水草の繁茂が湖底の底質に与えた影響を評価できるデータを取得	・南湖湖底直上における貧酸素水塊の特徴の解析、琵琶湖の放流量が貧酸素水塊へ与える影響の評価 ・環境DNAを用いたアユ、ホンモロコの分布の季節変化の解析 ・南湖の底泥に含まれる炭素量等の測定による、水草の繁茂が湖底の底質に与える影響の評価
68		赤野井湾での水質汚濁メカニズム解明のための調査、解析	琵琶湖環境科学研究センター 琵琶湖保全再生課	湾内の水質調査の実施。	湾内の水質調査の実施。
69		琵琶湖の環境保全に資する森林づくりに関する調査研究を実施	琵琶湖環境科学研究センター	ゾーニングの条件、森林更新、高齢林の林分構造および森林の価値に関する調査研究を実施。	ゾーニングの条件、森林更新、高齢林の林分構造および森林の価値に関する調査研究を実施。
70		底質改善事業の評価のための赤野井湾の底質や底生生物等のモニタリング調査を実施	流域政策局	実施無し	実施無し
71		良好な漁場を保全するための調査研究を実施	水産課	漁場の悪化要因、魚介類資源の回復に向けた技術開発研究を実施	漁場の悪化要因、魚介類資源の回復に向けた技術開発研究を実施
72	(10) 自然生態系の保全と自然浄化機能の回復		(独) 水資源機構 琵琶湖保全再生課 森林保全課 自然環境保全課 水産課 農村振興課 流域政策局		
73	①森林・農地等の保全と利用	里山林の保全・確保	農村振興課	-	-
74		水源かん養保安林等の適性な配備	森林保全課	・山地治山総合対策 51箇所 45.32ha ・水源地域等総合対策 14箇所 90.87ha ・森林基盤整備（交付金） 18箇所 20.79ha ・造林事業：1102ha	・山地治山総合対策 30箇所 30.82ha ・水源地域等総合対策 4箇所 27.86ha ・流域保全総合治山 4箇所 39.19ha ・森林基盤整備（交付金） 18箇所 4.65ha ・造林事業：1,180ha
75	②流域における対策	里山林の生態系保全と自然浄化対策を推進	農村振興課	ため池整備 5か所	ため池整備 6か所
76		魚のゆりかご水田プロジェクトの実施	農村振興課	取組地域 23地域 182ha	取組地域 17地域 118.5ha
77		琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト等の実施	農村振興課	魚のゆりかご水田米PR 魚道設置研修、生きもの調査の実施	魚のゆりかご水田米PR 研修会、生きもの調査の実施
78	③湖辺における対策	自然湖岸の再生、砂浜の保全	流域政策局	砂浜保全（2箇所継続）	砂浜保全（2箇所継続）
79		前浜の維持管理	(独) 水資源機構	前浜の巡視点検とモニタリング調査を行った。	前浜の巡視点検とモニタリング調査を行った。
80		早崎内湖をはじめとした内湖本来の機能の保全および再生、ピオトープ活用の推進	(独) 水資源機構	ピオトープを活用した外来種駆除等の環境学習会を実施した。	ピオトープを活用した外来種駆除等の環境学習会を実施した。
81			琵琶湖保全再生課	生物環境調査、水管理業務、地域主体型環境調査を行った。	生物環境調査、水管理業務、湛水地保全管理業務、地域主体型環境調査を行った。
82	④湖沼生態の保全と回復	固有の魚類等の種苗の放流	水産課	7種苗の放流(ニゴロブナ、ゲンゴロウブナ、ビワマス、ホンモロコ、ウナギ、ワタカ、セタシジミ)	7種苗の放流(ニゴロブナ、ゲンゴロウブナ、ビワマス、ホンモロコ、ウナギ、ワタカ、セタシジミ)
83		外来魚の駆除・繁殖抑制	水産課	水産有害生物駆除事業によるブラックバス、ブルーギルの捕獲：101t	水産有害生物駆除事業によるブラックバス、ブルーギルの捕獲：97t
84		産卵繁殖場であるヨシ帯の造成や覆砂による砂地の造成	水産課	ヨシ帯の造成 1.28ha (R2繰越分) 砂地の造成 3.75ha (R2繰越分)	ヨシ帯の造成 0ha 砂地の造成 4.5ha (R3繰越分)

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
85		侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業	自然環境保全課	○オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の徹底的な駆除を実施(4,190㎡) ○駆除後の大規模再生を防止するための巡回・監視・早期駆除を重点的に実施 ○駆除困難地に生息するオオバナミズキンバイ等の遮光シートによる駆除を実施	○オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の大規模再生を防ぐため、巡回・監視と早期駆除を範囲に実施 ○駆除困難箇所に対する遮光シート敷設を実施 ○オオバナミズキンバイのマット状群落を現場で枯死させる「淀川方式」の試験導入
86	(11) 地域住民等の協力の確保		県民活動生活課 環境政策課 琵琶湖保全再生課 循環社会推進課 森林政策課 流域政策局		
87	①地域住民等の参画の促進	森林ボランティア活動を支援	びわ湖材流通推進課	支援団体16団体	支援団体14団体
88		環境美化活動の実施	循環社会推進課	各管内で5/30, 7/1, 12/1を基準日とし、環境美化活動を実施した(延べ参加人数172,321人)。	各管内で5/30, 7/1, 12/1を基準日とし、環境美化活動を実施した(延べ参加人数194,802人)。
89	②環境学習の推進と環境保全活動の支援	環境学習活動への支援、指導者養成等	環境政策課	環境学習センターへの相談件数: 153件	環境学習センターへの相談件数: 177件
90	③流域における住民活動への支援	情報発信などによる支援	琵琶湖保全再生課	びわ湖まちかどむらかど環境塾の開催8回	びわ湖まちかどむらかど環境塾の開催14回
91	④多様な主体の参画促進	琵琶湖に関わる多様な主体をつなぎ、様々な活動や事業の創発を促進することにより、マザーレイクゴールズの達成に寄与 また、琵琶湖の価値や課題の発信、琵琶湖の活用・保全再生への参画を推進	琵琶湖保全再生課	令和3年7月にマザーレイクゴールズ(MLGs)を策定。個人・事業者向けにMLGsの賛同者を募集するとともに(R3年度末:1,171者)、MLGs WEB(ウェブサイト)やSNSを開設し、情報発信を実施。また、MLGsワークショップを実施(全34回、延べ参加者数1,314人)	令和3年7月にマザーレイクゴールズ(MLGs)を策定。MLGsの賛同者募集(R4年度末:1,425者)、MLGs WEB(ウェブサイト)やSNSでの情報発信、MLGsワークショップの実施(全47回、延べ参加者数2,792人)を引き続き行った。また、MLGs学術フォーラムでMLGs達成状況の評価を実施するとともに、関係者が一堂に会し交流・情報共有を行う「みんなのBIWAKO会議」を開催した。
92		「琵琶湖サポーターズ・ネットワーク」の活動により、情報共有・情報交換のためのシステムや協働を推進するための仕組みを構築	県民活動生活課	・協働プラットフォームの開催(1回、参加人数26人) ・「協働ネットしが」を運用し、NPO等の団体が、HPに直接記事を掲載、写真や動画をを用い活動情報やイベント情報の発信等を行った。	・「協働ネットしが」を運用し、NPO等の団体が、HPに直接記事を掲載、写真や動画をを用い活動情報やイベント情報の発信等を行った。
93	⑤啓発活動	琵琶湖の水質状況、本計画の趣旨、内容等の普及啓発	琵琶湖保全再生課	出前講座の実施やHPにおいて琵琶湖水質状況等について情報提供をおこなった。	出前講座の実施やHPにおいて琵琶湖水質状況等について情報提供をおこなった。
94	(12) 南湖における水質保全対策	東岸部3地区の流入負荷削減	琵琶湖保全再生課(関係機関)	赤野井湾流域流出水対策推進計画により、各取り組みを実施。	赤野井湾流域流出水対策推進計画により、各取り組みを実施。
95	(13) 南湖の再生プロジェクト	南湖の再生	琵琶湖保全再生課	翌年度以降の取り組みについて、検討を行った。	翌年度以降の取り組みについて、検討を行った。
96	(14) 関係地域計画との整合	—	—	—	—
97	(15) 事業者に対する助成	融資制度の活用による汚水処理施設の整備等の促進	中小企業支援課	実施	実施
98	(16) 関係機関等との連携および情報発信	国内外の湖沼を有する地域・国際機関との連携による琵琶湖、世界の湖沼・水環境保全	琵琶湖保全再生課	第18回世界湖沼会議等を通じて、琵琶湖保全の取組および湖沼の重要性の発信を実施(国際発信:計4回)	第4回アジア・太平洋水サミット等を通じて、琵琶湖保全の取組および湖沼の重要性の発信を実施(国際発信:計6回)

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績	
99	(1) 農業排水対策		木浜資源環境を守る会 木浜土地改良区 JAレーク滋賀 法竜川沿岸土地改良区 守山市 守山南部土地改良区			
100	① 水稲栽培における環境 こだわり農業の推進	環境こだわり農業による生産拡大	JAレーク滋賀	環境こだわり栽培における水稲作付面積は274.1ha（内みずかがみ106.7ha）の取り組み	環境こだわり栽培における水稲作付面積は268.8ha（内みずかがみ108.8haの取組み）	
101			法竜川沿岸土地改良区	区内上流部地域での代掻きや田植期の田排水を中流部で用水に再利用し、その排水を下流部での用水に再利用する循環型で濁水の防止に努め、排水対策を講じた。	区内上流部地域での代掻きや田植期の田排水を中流部で用水に再利用し、その排水を下流部での用水に再利用する循環型で濁水の防止に努め、排水対策を講じた。	
102			守山市	268ha（26,815a） ・県環境こだわり農業推進条例に基づき、環境保全型農業直接支払交付金や市の環境こだわり農産物育成補助金を措置して、作付を勧奨、奨励した。 ※実施主体 JAおうみ富士エコ富士米部会／特別栽培米研究会／満田会／大津「みずかがみ」研究会／俊ちゃん農園／他1件	254ha（25,485a） ・県環境こだわり農業推進条例に基づき、環境保全型農業直接支払交付金や市の環境こだわり農産物育成補助金を措置して、作付を勧奨、奨励した。 ※実施主体 JAおうみ富士エコ富士米部会／特別栽培米研究会／満田会／他1件	
103			守山南部土地改良区	営農はJAレーク滋賀にお願いする中、環境こだわり農業の推進を行い、土地改良施設（赤野井湾内川の取水と揚水、配水）の維持管理に務めた。	営農はJAレーク滋賀にお願いする中、環境こだわり農業の推進を行い、土地改良施設（赤野井湾内川の取水と揚水、配水）の維持管理に務めた。	
104			② 麦栽培における緩効性肥料 等による施肥改善の推進	肥料の流出負荷削減を図る。	JAレーク滋賀	緩効性肥料（元肥一発肥料）の推進
105			法竜川沿岸土地改良区	JAレーク滋賀の指導により実施	・JAレーク滋賀の指導により実施。	
106			守山南部土地改良区	JAレーク滋賀の指導をお願いする中、田地からの肥料流出削減により、赤野井湾内湖の水質保全に取り組んだ。	JAレーク滋賀の指導をお願いする中、田地からの肥料流出削減により、赤野井湾内湖の水質保全に取り組んだ。	
107			③ 農業用プラスチック類や 不要農薬の回収	廃プラスチック回収 年1回	JAレーク滋賀	廃プラスチックは58㎡で21.3tの回収実績。
108	④ 集落における濁水流出 防止等の啓発	農業組合長会議の実施、農談会の実施	不要農薬回収 2年に1回	JAレーク滋賀	不要農薬は農薬、容器合わせて3.2tの回収をした。	廃農薬容器的回収量は1.7t（2年毎から毎年になり昨年に比べ3.2tより減少）
109			JAレーク滋賀	6月末実施の集落農談会にて濁水流出防止を啓発（冬季はコロナウィルスのため資料送付のみで農談会の実施なし）	2月下旬に実施の農談会に啓発チラシを参加者、農業組合長に配布、JA広報誌にも掲載	
110			守山市	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検（用排水、農道、ポンプ場等） ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の泥上げ	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検（用排水、農道、ポンプ場等） ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の泥上げ	
111	⑤ 「世代をつなぐ農村まるごと 保全向上対策」制度を活用した活動の推進		木浜の資源環境を守る会 他	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検（用排水、農道、ポンプ場等） ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の補修	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検（用排水、農道、ポンプ場等） ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の補修	
112	⑥ 循環かんがい施設の使用	毎年、かんがい期に使用する。浄化池は「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」を活用し適正に維持管理を行う。	守山南部土地改良区	循環かんがい施設は、内湖にスクミリンゴガイの産卵が既に行われていたことから、例年同様、施設利用は行わなかった。内湖取水施設については、県や市の指導を得ることとしている。	循環かんがい施設は、内湖にスクミリンゴガイの産卵が既に行われていたことから、例年同様、施設利用は行わなかった。内湖取水施設については、県や市の指導を得ることとしている。	
113			木浜土地改良区	木浜土地改良区、木浜の資源環境を守る会、水利組合にて、代かき期から田植期を主に、北部揚水機場および南部揚水機場を働かせ、用水路に合流させる循環式用水の利用を実施した。	木浜土地改良区、木浜の資源環境を守る会、水利組合にて、代かき期から田植期を主に、北部揚水機場および南部揚水機場を働かせ、用水路に合流させる循環式用水の利用を実施した。	

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
114	(2)市街地排水対策		守山市 下水道課		
115	①守山栗東雨水幹線整備 事業の推進		守山市	特になし	特になし
116			下水道課	(滋賀県) ・供用面積110.9ha(増なし) (守山市) ・供用面積31.47ha(増なし) (栗東市) ・供用面積0ha	(守山市域) 184.6ha
117	②県道・市道の透水性舗装の 整備	市道：歩道設置延長(予定) 伊勢：20m	守山市	特になし	特になし
118	(3)河川等の浄化対策		NPO法人豊穡の郷 木浜自治会 玉津小津漁業協同組合 (独)水資源機構 守山市 守山漁業協同組合 守山市自治連合会 琵琶湖保全再生課 流域政策局		
119	①浄化施設を整備・検討	天神川の河口部において取り組む。	流域政策局	水質浄化施設として小津袋内湖の浚渫を実施した。	天神川河口部の水質浄化施設として小津袋内湖の拡幅を実施した。
120	②浄化施設の維持・運用	天神川、山賀川、堺川、守山川の 河口部における施設にて実施	流域政策局	守山川、天神川の浄化施設維持管理を実施した。	守山川、天神川の浄化施設の維持管理を実施した。
121	③環境配慮型の堤脚水路の 維持管理	道の駅草津から堺川までの一部区 間におけるビオトープにて実施	(独)水資源機構	湖岸堤道路沿いの水路(堤脚水路)周辺で除草、ゴミ回収を行った。また、水草の発生に対し巡回監視を行った。	湖岸堤道路沿いの水路(堤脚水路)周辺で除草、ゴミ回収を行った。また、水草の発生に対し巡回監視を行った。琵琶湖保全再生課が行うビオトープの自然観察会に協力した。
122			琵琶湖保全再生課	ビオトープの維持管理を実施するとともに、自然観察会を開催：11月6日 参加者24名	ビオトープの維持管理を実施するとともに、自然観察会を開催：11月5日 参加者30名 (8月に予定していた観察会は新型コロナウイルス感染症拡大により中止)
123	④河川の浚渫等の実施	流域において実施	守山市	案内川他浚渫工事 L=780m	三反田川 L=160m 守山川 L=30m 石田川 L=40m 山科川 L=100m 勝部里中河川 L=125m 服部里中河川 L=17m
124	⑤河川の生息環境の保全	非かんがい期における河川の水量 確保のための調査	NPO法人びわこ豊穡の郷	水質調査をおこない、非灌漑期の水量の問題を他団体と共有した。	水質調査をおこない、非灌漑期の水量の問題を他団体と共有した。
125		河川の生きものに関する調査	NPO法人びわこ豊穡の郷	・河川の水生物調査を11/21に実施、目田川の生きもの 図鑑(魚編)を再編し資料とし河川の生き物や川を知る。 (小3以上対象) ・ホタルの飛翔調査を実施5/10~6/9	・河川の水生物調査を11/5に実施、市内4河川を調査し 目田川の生きもの図鑑を参照に生き物や川を知る。(小3 以上対象) ・ホタルの飛翔調査を実施 5/10~6/9
126	⑥揚水の放流	市内の河川にて実施	守山市	揚水機の稼働 案内川 ・稼働時期 令和3年4月1日~令和4年3月31日 ・稼働時間 16時間/日 目田川 ・稼働時期 令和3年4月1日~令和4年3月31日 ・稼働時間 24時間/日	揚水機の稼働 案内川 ・稼働時期 令和4年4月1日~令和5年3月31日 ・稼働時間 16時間/日 目田川 ・稼働時期 令和4年4月1日~令和5年3月31日 ・稼働時間 24時間/日
127	⑦水と緑の潤いのあるまちづく り事業の実施	自治会の設置する揚水ポンプ設置 への補助および電気料金の補助	守山市	・揚水機の電気代補助：22自治会 ・揚水機の修繕：1自治会	・揚水機の電気代補助：23自治会 ・揚水機の修繕：2自治会
128	⑧河川等の清掃活動の実施				
129	○清掃、草刈り、底泥の 除去等	月1回(4月~11月)	木浜自治会	実施	実施
130	○木浜内湖のゴミ等の除去	・年2~3回 ・年1回	木浜自治会	自治会役員等が実施	自治会役員等が実施

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
131	○「自然の川づくり事業」の推進	地域からの広い参加	NPO法人びわこ豊穡の郷	「目田川モデル河川づくり」活動の継続（毎月第3土曜日午前中） 環境学習・啓発・体験の場の提供と推進。 ・7/24赤野井湾探検会実施。参加者21名。小3以上対象 ・11/7企業と連携し「まるっと親子セミナー」実施 オンライン ・7/10「守山の水辺百選」を活用して水辺百選講座の実施。旧野洲川跡地と野洲川改修を学ぶ ・3/12こども園児や水辺の楽校参加者によるホタルの幼虫放流 ・8/1～3夏休み生物観察教室 ・3/6赤野井湾小津袋クリーン大作戦。市民や企業漁協参加回収ごみ総量180kg ・あつまれみんなの川づくり、市立図書館横目田川で4月～3月まで実施、参加者延べ100名	「目田川モデル河川づくり」活動の継続（毎月第3土曜日午前中） 環境学習・啓発・体験の場の提供と推進。 ・8/6企業と連携し「びわ湖まるっと親子セミナー」実施 びわ湖のプラごみクリーン活動 ・3/11水辺の楽校目田川で参加者によるホタルの幼虫放流 ・2/25赤野井湾小津袋クリーン大作戦湖岸湖上のゴミ拾い ・10/9地域河川クリーン大作戦新守山川で実施
132	○湾内・湖岸のゴミの除去	・年4回	守山漁業協同組合	1回約200kg～300kg	1回約200kg～300kg
133		・年4回および出漁時	玉津小津漁業協同組合	浮遊ゴミ堆積物等除去作業 年/6回実施 湖底の堆積物除去作業 年/4回実施	湾内、湖岸、ヨシ帯内部ゴミ蓄積物除去作業 年/8回 湖底ゴミ蓄積物除去作業 年/4回
134			守山市	守山市湖岸清掃運動（令和3年11月13日実施） 参加者：212人、ごみ回収量：850kg ※赤野井湾再生プロジェクト主催の湖底ゴミ除去活動と同日開催	守山市湖岸清掃運動（令和4年11月12日実施） 参加者：250人、ごみ回収量：410kg ※赤野井湾再生プロジェクト主催の湖底ゴミ除去活動と同日開催
135			守山市（赤野井湾再生プロジェクト）	琵琶湖の湖底ゴミ除去活動（令和3年11月13日実施） 参加者：135人 湖底ゴミ回収量：793kg（内、プラスチックゴミ449kg） プロジェクト独自で湖底ゴミ分析調査を実施 ※守山市主催の湖岸清掃運動と同日開催	琵琶湖の湖底ゴミ除去活動（令和4年11月12日実施） 参加者：107人 湖底ゴミ回収量：199.9kg（内、プラスチックゴミ110.5kg） プロジェクト独自で湖底ゴミ分析調査を実施 ※守山市主催の湖岸清掃運動と同日開催
136	○市内の河川の清掃活動を支援	市内流域にて実施	守山市 守山市自治連合会	ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 ・実施日：11月21日、11月28日、12月5日 ・実施自治会 69自治会 ・搬入量 草：60,440kg、破碎：740kg 樹木：8,580kg、ヘドロ：60㎡ 河川愛護作業 自治会が河川清掃を実施 ・実施日 7月4日、11日、18日 ・実施自治会 66自治会 ・搬入量 草：184,300kg、破碎：9,650kg 樹木：25,580kg、ヘドロ：81.0㎡	ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 ・実施日：11月20日、11月27日、12月4日 ・実施自治会 67自治会 ・搬入量 草：63,790kg、破碎：460kg 樹木：12,170kg、ヘドロ：60㎡ 河川愛護作業 自治会が河川清掃を実施 ・実施日 7月3日、10日、17日 ・実施自治会 59自治会 ・搬入量 草：101,080kg、破碎：550kg 樹木：12,250kg、ヘドロ：62.5㎡
137	(4) 湾内の環境改善対策		玉津小津漁業協同組合 琵琶湖保全再生課 水産課		
138	①水生植物の刈取りを実施 ○水生植物の表層刈取り ○水生植物の根こそぎ除去		玉津小津漁業協同組合	漁場航路等に繁茂するヒシ藻、浮遊する外来植物除去作業	水生植物ヒシ藻除去作業 年/2回
139			琵琶湖保全再生課	水生植物の繁茂が比較的に少なかったため、実施せず。	特になし
140			水産課	湖流改善と稚魚の移動経路を確保するため、赤野井湾の湾口部で408トンの水草を根こそぎ除去（5～3月）。	赤野井湾口の96ヘクタールで湖底耕うんによる水草除去を実施し、計525トン除去した。

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
141	(5) 河川・湾内等の環境美化		NPO法人びわこ豊稷の郷 木浜自治会 玉津小津漁業協同組合 守山市 守山漁業協同組合		
142		清掃、草刈り、底泥の除去等作業	木浜自治会	実施	実施
143		木浜内湖の藻、浮草、ごみ等の除去作業	守山漁業協同組合	1回約300kg～500kg	1回約300kg～500kg
144	清掃活動の実施	「自然の川づくり事業」に地域からの参加がさらに得られるよう広く展開	NPO法人びわこ豊稷の郷	「目田川モデル河川づくり」活動の継続（毎月第3土曜日午前中） 環境学習・啓発・体験の場の提供と推進。 ・7/24赤野井湾探検会実施。参加者21名。小3以上対象 ・11/7企業と連携し「まるっと親子セミナー」実施 オンライン ・7/10「守山の水辺百選」を活用して水辺百選講座の実施。旧野洲川跡地と野洲川改修を学ぶ ・3/12こども園児や水辺の楽校参加者によるホタルの幼虫放流 ・8/1～3夏休み生物観察教室 ・3/6赤野井湾小津袋クリーン大作戦。市民や企業漁協参加回収ごみ総量180kg ・あつまれみんなの川づくり	「目田川モデル河川づくり」活動の継続（毎月第3土曜日午前中） 環境学習・啓発・体験の場の提供と推進。 ・7/23赤野井湾探検会実施。参加者30名。小学生以上対象 ・8/6企業と連携し「びわ湖まるっと親子セミナー」実施 びわ湖のプラごみクリーン活動 ・7/10「守山の水辺百選」地域の水辺に学ぶ。瀬田方面への探訪を実施。・8/27水辺楽校夏編実施 参加者30名・10/9地域河川クリーン大作戦新守山川小津学区10名参加 ・3/11水辺の楽校冬編の参加者やこども園によるホタルの幼虫放流 ・7/29～8/2夏休み生き物観察教室小学生5名参加 ・2/25赤野井湾小津袋クリーン大作戦 市民・自治会・企業・漁協・IVUSA等参加 ・あつまれみんなの川づくり
145		湾内・湖岸のごみの除去作業	玉津小津漁業協同組合 守山漁業協同組合 守山市	毎回軽トラック6台（流木3台、ステロール1台、ペットボトル等2台）程度のゴミを回収 守山市湖岸清掃運動（令和3年11月13日実施）	毎回軽トラック6台（流木3台、ステロール1台、ペットボトル等2台）程度のゴミを回収 守山市湖岸清掃運動（令和4年11月13日実施）
146		市内の河川の清掃を支援	守山市	河川愛護作業	河川愛護作業
147		赤野井湾再生プロジェクトによる琵琶湖の湖底ごみ除去活動	守山市	琵琶湖の湖底ごみ除去活動（令和3年11月13日実施）	琵琶湖の湖底ごみ除去活動（令和4年11月12日実施）
148	(6) 自然生態系の保全と回復		NPO法人びわこ豊稷の郷 草津市 玉津小津漁業協同組合 守山市 守山漁業協同組合 琵琶湖保全再生課 自然環境保全課 水産課		
149	①ゆりかご水田事業の実施	年5～7回	玉津小津漁業協同組合	約10aにニゴロブナ放流育成	実施なし
150			守山市	・稚魚の放流実施日→5/22～7/1（田植期から中干しまで） ・稚魚の放流→581,250匹程度 ・4集落および個人（2名）で実施 ・実施集落（合計319.5a） →赤野井、木浜、幸津川、川田町喜多、石田（個人）、欲賀（個人） ・赤野井 96.1a、木浜 96.2a、今浜 93.0a、幸津川 10.0a、川田町喜多 12.2a、石田 12.0a	・稚魚の放流実施日→5/22～7/1（田植期から中干しまで） ・稚魚の放流→525,000匹程度 ・5集落および個人（1名）で実施 ・実施集落（合計281.6a） →赤野井、木浜、今浜、幸津川、川田町喜多、石田（個人） ・赤野井 111.4a、木浜 89.8a、今浜 46.2a、幸津川 10.0a、川田町喜多 12.2a、石田 12.0a
151	②ニゴロブナ仔魚などの水田放流		水産課	ホンモロコ仔魚2,050千尾、ニゴロブナ仔魚2,162千尾を放流。	赤野井湾周辺の水田にニゴロブナふ化仔魚420万尾を放流した。
152	③外来魚の集中駆除		玉津小津漁業協同組合 水産課	・電気ショッカーボートによる駆除を27日間実施し、オオクチバス690kg、ブルーギル39kgを駆除 ・タモ網でのオオクチバス仔魚駆除を延べ43人で行い、約8万尾を駆除 ・外来魚刺網駆除作業を15回実施	赤野井湾で電気ショッカーボートによる駆除を実施し、外来魚408kgを駆除した。また稚魚すくいにより約38万7千尾のオオクチバス稚魚を駆除した。 外来魚駆除作業 年/24回
153	④湾内・河川内でのオオパナミズキンバイをはじめとした外来植物の防除	防除作業を実施、効率的な処分方法の確立。	NPO法人びわこ豊稷の郷	玉津小津漁業組合と国際ボランティア学生協会、豊稷の郷の協働でオオパナミズキンバイの除去活動10/31実施	玉津小津漁業組合と国際ボランティア学生協会、豊稷の郷の協働でオオパナミズキンバイの除去活動10/31実施
154			玉津小津漁業協同組合	湾内30カ所を巡回し、繁茂があれば駆除作業の実施 年/103回実施 ヨシ帯33haの監視自駆除作業 年/13回実施	外来植物湾内、ヨシ帯、周辺河川部駆除作業 年/15回 外来植物湾内、ヨシ帯、巡回監視駆除作業 年/68回

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
156			守山市（赤野井湾再生プロジェクト）	・毎月のウォッチャー活動における継続監視および防除 ・湖底ゴミ除去活動におけるオオバナミズキンバイ等外来植物の防除（令和3年11月13日（土）実施）	・毎月のウォッチャー活動における継続監視および防除 ・湖底ゴミ除去活動におけるオオバナミズキンバイ等外来植物の防除（令和4年11月12日（土）実施）
155			守山漁業協同組合	湾内でオオバナミズキンバイ等が軽トラック5台程度。月によっては倍の時もある。乾燥させて、焼却。（毎回このくらいの量はある）	湾内でオオバナミズキンバイ等が軽トラック5台程度。乾燥させて、焼却。（オオバナミズキンバイの量は令和3年度より少し減少した）
157			自然環境保全課	○駆除跡地において巡回・監視を行い、再生個体を発見した場合は早期駆除を実施 ○NPO法人びわこ豊穡の郷等が行うオオバナミズキンバイ除去作業への必要資材の提供および職員の派遣を実施（いずれも琵琶湖外来水生植物対策協議会として実施）	○群落の再生を防ぐため、広範囲に巡回・監視を行い、低密度状態を維持。 ○NPO法人びわこ豊穡の郷等が行うオオバナミズキンバイ除去作業への必要資材の提供。（いずれも琵琶湖外来水生植物対策協議会として実施）
158	⑤湾内のハスの継続的な調査等の実施	継続的な調査やデータの蓄積等を含め、適切な管理手法の検討を進める。	草津市	※（事業なし）	※（事業なし）
159			自然環境保全課 琵琶湖保全再生課	- ※（草津市の事業なし）	特になし
160	(7) 啓発事業およびその他の関連事業		NPO法人びわこ豊穡の郷 草津市（公社）守山青年会議所 湖南・甲賀環境協会 湖南流域環境保全協議会 南部環境事務所 緑の少年団 守山市 守山市消費生活学習会 野洲市 栗東市 環境政策課		
161	①暮らしの中での実践				
162	○環境負荷の少ない暮らしの普及啓発	年2回	守山市消費生活学習会	7/1街頭啓発 モリーブ 12/1街頭啓発 平和堂、西友 11/6びわ湖湖底ゴミ清掃	7/1, 12/1 街頭啓発（CO2削減・買い物袋持参） モリーブ、平和堂、西友 11/12 湖岸掃除（湖底ゴミ除去活動に参加） 11/19～ 交流センター（フェスターにてゴミ・水に関するパネルにて啓発） 12/14 京（みやこ）エコロジーセンターにて地球温暖化防止、環境安全を学び、普段の生活（ゴミ・水）で1人1人ができることを考える一歩になるよう啓発を行った。
163	○エコキッチン革命に取り組む。	料理教室等の開催	守山市消費生活学習会	コロナ感染症のため中止	エコキッチン革命における料理教室は中止。それに代わる、大人を中心に、健康教室を開催し、健康づくりの基本を学び、そのあとゴミの出し方などを啓発した。
164	○環境に配慮した暮らしや環境保全行動の普及啓発を進める		環境政策課	「びわ湖の日」40周年事業において作成した「環境啓発パンフレット」を県内全小中学生へ配付するとともに、ワークショップを県内各地で6回実施した。	7月1日「びわ湖の日」をきっかけに、琵琶湖や環境について考える啓発イベントを開催するとともに、PR動画「#びわ湖の日があるから」を作成し、SNSによる情報発信を実施した。
165	○河川への油の流出防止の啓発を実施する		草津市	市の広報にて市民へ周知するとともに、事業所立入時等に併せて油流出防止の啓発を実施。	河川への油の流出防止の啓発を実施する。 市の広報にて市民へ周知するとともに、事業所立入時等に併せて油流出防止の啓発を実施した。
166			守山市	事業所立入調査時等に、油の流出防止対策について確認し、啓発・指導を実施	事業所立入調査時等に、油の流出防止対策について確認し、啓発・指導を実施した。
168			野洲市	市と環境保全協定を締結している108事業所のうち、今年度は28事業所を計画訪問（15社）又は電話によるヒアリング調査（13社）を行い、環境設備の状況や油漏れ事故対策備品の保有状況等を確認した。	市と環境保全協定を締結している108事業所のうち、今年度は33事業所を計画訪問し、環境設備の状況確認や油漏れ事故対策備品の保有状況等を確認した。
167			栗東市	広報「りっとう」6月号にて「油の流出に注意してください」として記事を掲載し、家庭や事業所に対し油流出防止に関する注意喚起を行った。また、発見時における通報の依頼等も行い、早期対応による被害の拡大防止についても啓発した。	市の広報にて油流出防止に関する注意喚起を実施。工場・事業所への立入調査時に油の流出防止対策等を確認し、啓発・指導を実施。

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
169	②職域での実践	環境情報交換会：年7回	湖南・甲賀環境協会	1) 水質事故被害拡大防止訓練 主催：湖南・甲賀環境協会、滋賀県、共催消防署、草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市 11月5日甲賀市碧水ホール及び水口神社周辺水路、駐車場参加者96名、時間短縮し午後からの開催にした。 危険物漏洩時の措置の基本を学んだ後、オイルマットの吸着実験、吸着材による油回収、土壌の作成と積み方の体験と、油流出想定訓練実施（水路の土壌による堰止めとオイルフェンスによる油回収）あいコムこまの取材を受けニュースに取り上げられた。また、今年度はマザーレイクゴールズの事務局から大学生の参加を受け入れた。 座学研修は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、緊急事態宣言発動により、会議形式を中止し、消防署による「漏洩事故の予防と事故発生時の対応について」の講演と、消防署への「119番」通報体験動画をHP上で公開した。。	1) 水質事故被害拡大防止訓練 主催：湖南・甲賀環境協会、滋賀県、共催消防署、草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市 ① 座学 9月15日甲賀地区 54名参加 9月22日南部地区 52名参加 消防署による「漏洩事故の予防と事故発生時の対応について」の講演と、消防署への「119番」通報体験を実施 ② 実地訓練 10月4日野洲市子ミニティーセンターみかみ及び御手洗川参加者109名参加 危険物漏洩時の措置の基本を学んだ後、オイルマットの吸着実験、吸着材による油回収、土壌の作成と積み方の体験と、油流出想定訓練実施（水路の土壌による堰止めとオイルフェンスによる油回収）あいコムこまの取材を受けニュースに座学及び実地訓練を録画し動画をHP上で公開した。
170				2) 地区別情報交換会 例年1月末から3月初に草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市別に実施していたが、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、集合での開催を見送り、協会HP上で情報発信をした。 内容は県、市行政から工場・事業所立入調査の指摘事項、苦情の状況と対策について情報発信をした。	2) 地区別情報交換会 草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市別に1月末から2月に実施。県、市行政から工場・事業所立入調査の指摘事項や、苦情の状況と対策についての報告と、行政・会員間の情報交換を行った。
171	③環境学習の展開	環境に関する研修会：年3回	湖南・甲賀環境協会	2. 教育・研修会 1) 環境トップセミナー 会員企業を訪問し先進的な取組みを企業のトップ層に理解をいただき機会として開催してきたが、新型コロナウイルス感染症で止めた。その代替として10/26「CO2ネットゼロ社会づくりに向けた取り組みの推進」について滋賀県総合企画部CO2ネットゼロ推進課から講演をいただいた。参加33名。 2) 環境担当者研修会 ①7/27 琵琶湖の課題とマザーレイクゴールズの取組 44名参加 ②11/18甲賀、11/26南部 計86名参加 AI自動排水システムについて、工場の浸水対応と対策について、災害について学ぶ ③12/4甲賀、12/20南部 計107名参加 環境関連法改正の再周知について、PCB廃棄物の処理と対策について 今年度も新型コロナウイルス感染症対策で集合研修の場所（密にならない広さの確保）や参加できない企業向けにYouTubeの活用等の工夫を行って実施した。	各研修会 ① CO2ネットゼロに向けた滋賀県の計画 ② CO2削減に向けた事例紹介 ③ CO2ゼロ実証工場（パナソニック）の見学 ④ 油流出事故の事例紹介とその対策について
172		ごみのポイ捨て禁止啓発活動	南部環境事務所	南部管内一円で62回の活動を実施した。	南部管内一円で55回の活動を実施した。
173		河川への油の流出防止の啓発	湖南・甲賀環境協会	研修会や環境情報交換会と併せて開催	研修会や環境情報交換会と併せて開催
174	○情報交換会の開催	年7回	湖南流域環境保全協議会	6回開催	3回開催
176	○「川づくりフォーラム」の開催	年1回	NPO法人びわこ豊穡の郷	1/30第19回川づくりフォーラム、テーマ「ホタルと共に生きていく」実施、学生による企画運営	2/11第20回川づくりフォーラムテーマ「守山 ぐらしのなかの水辺」実施、学生と一緒に企画運営
177	○子どもの環境教育の推進	野洲川河川学習の実施：年1回	緑の少年団	野洲川河川学習を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。	野洲川河川学習を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。
178	○子どもの水質保全を学ぶ機会の創出	いかにだく大会開催 年1回	(公社) 守山青年会議所	昨年度も、新型コロナウイルス感染症拡大のため野洲川冒険大会は中止となりました。	雷雨のため野洲川冒険大会は中止となりました。
179	○たんぼのこ体験事業の実施	市内の小学校で実施	守山市	たんぼのこ体験事業 ・対象者 市内小学生 ・事業実施面積 51.5a ・参加者 市内小学生 1,024名 ・実施時期および内容（米） 5月中旬～6月上旬 田植え 10月頃 稲刈り ・実施時期および内容（さつまいも） 5月下旬 苗植え 10月下旬 いもほり	たんぼのこ体験事業 ・対象者 市内小学生 ・事業実施面積 45.2a ・参加者 市内小学生（930名 未確定） ・実施時期および内容（米） 5月中旬～6月上旬 田植え 10月頃 稲刈り ・実施時期および内容（さつまいも） 5月下旬 苗植え 10月下旬 いもほり

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和3年度事業実績	令和4年度事業実績
180	○地域環境に学ぶ体験学習を実施	市内の幼稚園、小・中学校で実施	守山市	スクール農園 市内全幼稚園およびこども園、小学校にて農園を開設し 栽培体験を実施 ※市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校	スクール農園 市内全幼稚園およびこども園、小学校にて農園を開設し 栽培体験を実施 ※市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校
181	○環境学習教材の貸出しや環境講座への講師派遣		草津市	環境学習教材貸出：29件 講師派遣：10件	(エコプラ環境学習啓発委託事業) 環境学習教材貸出：32件 講師派遣：16件 ※以下の事業費も含む ・環境にやさしい週間事業 ・エコプラワークショップ事業 ・エコミュージアム推進事業 ・こどもエコクラブ事務局事業 ・環境学習セミナー事業 ・エコプラ周知活動事業
182	(8) 環境モニタリング		NPO法人豊穡の郷 学識経験者 守山市 琵琶湖保全再生課 水産課 流域政策局		
183	① 湾内のモニタリングの実施				
184	○イケチョウガイの育成状況のモニタリング	イケチョウガイの生育調査	水産課	・イケチョウガイ改良員の垂下による成長・生残の追跡調査。 ・貝類餌料環境に関する水質調査。(調査回数：6回)	赤野井湾内の2漁場で2回、貝の発育状況をモニタリングしたところ、良好な成長が確認された。
185	○水質(内湖)のモニタリング	年2回	守山市	内湖水質調査 ・調査地点 5地点 ・調査場所 -木浜内湖釣り桟橋東端 -赤野井漁港東側の橋付近 -天神川樋門東側 -木浜内湖1号水路(2地点) ・調査日 7月、12月	内湖水質調査 ・調査地点 5地点 ・調査場所 -木浜内湖釣り桟橋東端 -赤野井漁港東側の橋付近 -天神川樋門東側 -木浜内湖1号水路(2地点) ・調査日 7月、12月
186	○水質、底泥、生息生物のモニタリング	年2回	琵琶湖保全再生課	・水質調査を毎月1回実施。	・水質調査を毎月1回実施。
187			流域政策局	実施無し	実施無し
188	② 流入河川の水質モニタリングの実施				
189	○市内8河川の水質モニタリング	年5回	NPO法人びわこ豊穡の郷	・守山市内河川8河川80地点の水質調査を継続(年4回と代掻き時)「身近な水環境の全国一斉調査」参加6/6 マップIV作成 ・目田川ゴミ調査実施毎月1回	・守山市内河川8河川80地点の水質調査を継続(年4回と代掻き時)「身近な水環境の全国一斉調査」参加6/5 ・目田川ゴミ調査実施毎月1回
190	○市内14河川の水質モニタリング	年6回程度	守山市	河川水質調査 ・調査地点 17地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路 ・調査回数 年6回以内	河川水質調査 ・調査地点 17地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路 ・調査回数 年6回以内
191	○守山川の水質モニタリング	年12回	琵琶湖保全再生課	守山川(県道大津守山近江八幡線の交叉地点)において実施	守山川(県道大津守山近江八幡線の交叉地点)において実施
192	③ 湾の水質汚濁メカニズムの調査・研究				
193	○湾内の水質の動向等についての研究		学識経験者	なし	なし
194	○湾の水質汚濁メカニズムの解明		琵琶湖保全再生課	なし	なし
195	④ モニタリング結果の集約、整理、発信	モニタリング結果の収集および結果の整理と関係者への還元	NPO法人びわこ豊穡の郷	守山市内8河川の水質調査結果をまとめマップIVを作成した・赤野井湾再生プロジェクトに参加し他団体と連携して湾内のゴミ、水草、水質調査等実施、更に県への提言に努めた。	マップIVを自治会・事業所・市内教育関係・他団体・行政等に配布し啓発に努めた・赤野井湾再生プロジェクトに参加し他団体と連携して湾内のゴミ、水草、水質調査等実施、更に県への提言に努めた。